

6月2日(火)に1年生全体に講演をいただいた坂田隆文先生から、「ディスカッションの大切さ」についての講座をクラス単位で実施していただきました。

第2回アクティブ・ラーニング講座

テーマ：「アクティブ・ラーニング講座入門」

日時：平成27年6月16日(火) 第6限：1年6、7組 第7限：1年2組
 6月30日(火) 第6限：1年1、5組 第7限：1年3、4組

講師：中京大学総合政策学部 坂田隆文教授

会場：関高校桜ヶ丘会館3階大教室

今回は坂田先生から提示されたテーマをもとに、クラスごとに6～7人でグループディスカッションを行いました。その後、グループの代表者が意見を発表しました。本日の活動を通して、「自分たちなりの意見を出すこと」、「時間を守ること」、「取捨選択すること」、「協力しあうこと」、「意見をぶつけ合うこと」の大切さを教えていただきました。

今後はこのグループで、「高校生に売れる筆箱」というテーマで商品企画を行い、アクティブ・ラーニングを経験していきます。



【生徒の感想】

■ 今回は、実際にチームでのグループディスカッションを行いました。坂田先生が言われていたように、どのグループの意見も似たようなものだと感じました。自分たちのグループがそうならないためには、**他のグループが思いつかないような発想が必要であり、その発想を裏付ける論理的な根拠も必要である**とわかりました。また、**プレゼンの方法にも独自性を持たせることが大切**とも分かったので、今後の話し合いの中でその方法を見つけていければよいと思いました。 (男子生徒)

■ 今日の授業から、普段話さない相手とも議論することができ、いい体験ができたと思います。これから関わっていく仲間なので、協力していけるように、意見を出し合っていきたいです。また、自分の思ったことを発言しながら仲間の意見を聞いて、まとめながら話を進めていけたので良かったと思います。筆箱の企画の際は、今日のように**どこともかぶらないような意見やアイデアを出し合い、自分たちらしいものが完成できるように取り組んでいきたい**と思いました。 (女子生徒)

■ 今日は実際にグループを作ってディスカッションをしました。意外と全員が発言出来ていたので、これからの企画会議でも発言が弾みそうです。高校生に売れる筆箱を企画するにあたって、大切なのは、やはり、最後の方にも話が出た、**独創的な差別化。これをいかに買い手に受け、利益が出るようにするか。そして、それに論理が伴っているか。**これらはとても難しいことだけど、リーダーとしてみんなで考えやすいようにしたいです。 (男子生徒)